



2月 の教室・行事予定

日	曜	教 室・行 事 等	~毎月10日は人権を考える日~
2	月	いきいき百歳体操 (10:00~11:00) 大町体操 (14:00~15:30)	令和7年度「西条市差別をなくする市民の集い」における人権に関する作品展示の中から、市内中学生の作品（人権標語）の一部を紹介します。
4	水	フォークダンス (10:00~12:00) クラフト手芸 (13:00~15:00)	・段差はない！ 一人ひとりの 人権に
6	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:00~20:30)	・差別の芽 なくしていこう 自分から
9	月	いきいき百歳体操 (10:00~11:00) 大町体操 (14:00~15:30)	・いじめるな 君もみんなも 違う「人」
10	火	茶道 (13:30~15:30)	・性別は 二つじゃなくて無限大
11	水	建国記念の日	・その投稿 本当に誰も傷つけない？
13	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:00~20:30)	・言葉も文化も違うけど 同じ人間 心は一つ
16	月	いきいき百歳体操 (10:00~11:00) 大町体操 (14:00~15:30)	・ありがとう みんなを笑顔にする言葉
18	水	フォークダンス (10:00~12:00) クラフト手芸 (13:00~15:00) 健康相談 (13:30~15:30)	・相手になりきり想像してみる 私の行動は美しいか？
20	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:00~20:30)	・独りじゃない すぐ近くにある 救いの手
23	月	天皇誕生日	・決めつけず 顔を合わせて 話すこと 人権を守る 第一步
24	火	茶道 (13:30~15:30)	・順位はない 良いとこそれぞれ ちゃんとある
25	水	クラフト手芸 (13:00~15:00)	・認め合い 心のとびら 開く力ギ
27	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:00~20:30)	
【開館時間】9:00 ~ 17:00			
【休 館 日】土曜日 日曜日 国民の祝日			
年末年始(12/29~1/3)			

第310回 会館ミニ展示会

『西条東中&西条南中美術部合同展』

【日 程】2月2日(月)~20日(金)

【場 所】大町会館1階廊下

ここ大町会館（隣保館）は、人と出会い、交流、つながる場です。偏見や差別、排除のない多様な生き方やこれからの中の社会の在り方を語り合う場です。人と人がつながり合う社会に関心がある方、何かを始めたいと思っている方、お気軽に立ち寄りください。ご心配事、悩み事など各種相談、お申込み・お問い合わせは、**西条市大町会館（0897-55-5393）**まで、お気軽にご相談ください。

大町会館だより 2月号



2026(令和8)年2月 No.310

発行:西条市大町会館

〒793-0035 西条市福武甲 1644-1
TEL・FAX (0897) 55-5393
E-mail omachikaikan@saijo-city.jp

新しい年、2026年(令和8年)がスタートして早やひと月が経とうとしていますが、皆さんにとって今年はどんな年になりそうでしょうか。干支では丙午(ひのえうま)、十二支で午(うま)にあたり、動物としては、その読みになぞらえて馬を示しています。馬年にあやかり、どのように駆け巡る、回る一年にしていくか、どうすれば「うま」くいく年となるか、考えてみるのもいいですね。

大町子ども会活動レポート ～2025年末&2026年始～

大町子ども会(竹の子会 友の会ジュニア)の年末・年始の活動をレポートします。

2026干支(午・馬)革細工教室 2025.12/21(日)

2025年の年の瀬、今回の12月の活動は革細工教室を開催しました。講師をお招きして2026年の干支にちなんだ革細工に挑戦しました。キー ホルダー型とストラップ型の2パターンのうち、どちらかを選んで製作しました。キー ホルダー型の方が少し大きめですが、どちらも形状はほぼ同じです。しかし、前髪と目の取り付け方でそれぞれの馬の表情に違いが表れ、唯一無二のMY干支(馬)皮細工作品が出来上りました。身近なところに飾って、この2026年がよき一年となりますよう願っております。



大町子ども会合同県外研修～国立療養所 大島青松園訪問～ 2026.1/6(火)

子どもたちが冬休み中の1月6日(火)、大町子ども会(竹の子会、友の会ジュニア)の県外研修として香川県高松市沖に浮かぶ大島、その中に在所する国立療養所 大島青松園を訪問しました。

西条市内の全小・中学校では、15年ほど前よりこのハンセン病問題について、市内の人権・同和教育の年間指導計画に位置づけ、共通の教材として小学校5年生より段階的にその学びを積み上げています。子ども会の子どもたちも学年の違いはありますが、小・中学校での学習の発展として今回現地訪問学習の機会を得ることとなりました。また、大島青松園に入所されている松本常二(つねじ)さん(94歳)と故郷が同じであることもあり、直接会って交流できることをとても楽しみに迎えた訪問となりました。



天候にも恵まれた冬晴れの当日、高松港官有船(国所有の船)発着の桟橋より約20分、大島港桟橋へ到着、乗船時間は短いですが陸続きではないこと、船でないと大島にも高松にも行き来ができないことに国が行った歴史的な経緯を思うとき、改めて差別の現実を考えさせられました。

大島青松園での現地研修の時間は、船の発着時間の関係で約3時間と限られたものでしたが、まず社会交流会館の見学では、学芸員さんからハンセン病や青松園の歴史、入所者の方々の生活、その暮らしの中での差別の歴史とその現実についての説明を聞きました。交流会館には、松本さんが2021年東京オリンピックの聖火ランナー(香川県の最終ランナー)として着用されたユニフォームと聖火ト



チが展示されていました。足のケガから復帰後の車いすでのトーチランが、この世のあらゆる差別の根絶を訴える、記憶に残る聖火リレーとなりました。

その後、大島会館で松本さんと対面しての交流会となりました。前半は松本さんから西条を出た当日朝の話から青松園に入所された当時、その後の青松園での生活などについてお話を伺いました。後半では、今回の参加者から松本さんにいくつか質問をしました。臨席したスタッフの方が松本さんへの伝え役としてサポートしてくれながら交流会は進みました。松本さんは同郷の子どもたちとの交流がとても嬉しそうで、小学5年生まで過ごした故郷のことや同級生のこと、走り回って遊んだ日々のこと等々、本当によく覚えられていて、懐かしそうに話される声のトーンや元気なお姿に、私たちの方がパワーをいたいたいと思いました。



交流会の終わりに、「ハンセン病問題について学んでいる私たちへ伝えたいことはどんなことですか?」と質問しました。その問い合わせに「ハンセン病は治る、治せる病気であること(ハンセン病への正しい知識とその理解)、そして、この問題(偏見と差別を生み残してきた過ち)は、人間が生み残したことである。だからこそ人間自身がこの問題を根絶せねばならない。」と言われた言葉が強く心に残りました。

交流会の後、穏やかな冬晴れのもと行われた園内のフィールドワークを通して、現地でないと感じ得ない多くのことを学ぶことができました。



第4回 ふれあい料理教室のご案内

《日 時》 3月14日(土) 9:00~12:00

《場 所》 大町会館1階 調理実習室

《講 師》 高木 俊江 先生

《内 容》 季節の献立

《参加費》 300円

《定 員》 8名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

お申し込みは
☎55-5393
(大町会館)まで

